

男女共同参画から見る 「メディア・リテラシー」

第2弾

● メディア・リテラシーとは

メディア(新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネットなど)が発信する情報などに、私たちは常に翻弄^{ほんろう}されています。無数の情報が発信される中で、ついそれらの情報をうのみにしてはいません。

情報を受け取る側が情報を主体的に収集・判断し、見えない部分まで含めて読み解き、併せて、読み解いた情報を自分自身の言葉で発信できる能力を身に付けることを「メディア・リテラシー」と呼んでいます。

男女共同参画情報コーナー

とらいあんぐる

～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいあんぐる」編集員

【問合先】＝本庁企画政策部 コミュニティ課
男女共同参画グループ

☎(23)5111(内線 4612)

全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会「男女共同参画社会」の実現が求められています。多様な生き方が選択でき、男性も女性も、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会づくりを進めるためには、社会全体が性別による固定的な役割分担を見直し、理解していくことが重要です。女性または男性に特有な表現(例：女医、父兄)、性を冠した用語(例：女子高生、男子学生)、男女を区別した呼称(例：OL、サラリーマン)など、男女を必要以上に区別して表現することは、本来対等である関係を崩しかねず、性別に対する固定的なイメージを助長させる可能性があります。私たちは、日々さまざまな形で情報を発信しています。多様性を認め、不快感を与えない表現を心掛けましょう。

気を付けたい職種の名称

改正男女雇用機会均等法により、社員などの募集・採用時に、男女のいずれかを表す職種の名称を使うことや、「男性歓迎」「女性向きの職種」などの表示をすることは禁止されています。

*「営業マン(男性・女性)募集」とするなど、どちらかを排除するものではないことを明確にしている場合は除きます。

保母・保父 保健婦・保健士 看護婦・看護師 助産婦 営業マン カメラマン スチュワーデス ウェ이터・ウェイトレス・フロアレディ ベルボーイ・ベルガール セールスレディ	保育士 保健師 看護師 助産師 営業職・営業部員 映像技師・フォトグラファー 客室乗務員・キャビンアテンダント フロアスタッフ ロビーアテンダント セールススタッフ
--	---

広報担当者の声

Q 広報紙作成に当たって特に配慮していることは？

A 広報紙は、基本的には読み手である市民の皆さんに分かりやすい表現で作成するよう心掛けていますが、特に、次のような点に留意しています。

- ① 偏見や私感を交えず、公共性・中立性などの視点で
- ② 虚偽や誤解を与えるような表現になっていないか
- ③ 文章・写真・イラストなどが、固定的な性差などにとわられないように配慮

